

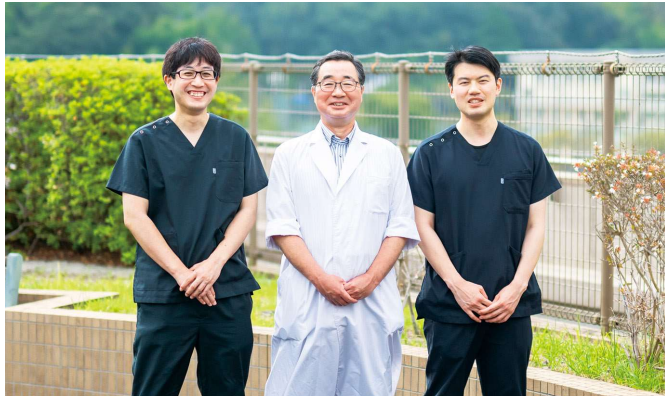
PROGRAM

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 高知病院

経験数を十分得ることができ、かつじっくり、しっかり学べる研修環境

高知病院 臨床研究部長 竹内 栄治



高知病院の初期臨床研修について

当院は、病床数424床(うち重症心身障害120床・結核22床)、診療科26を有し、二次救急病院として年1500件以上の救急搬送を受け入れるなど、高知市における地域医療の一翼を担っている基幹病院です。高知県がん診療連携推進病院としてがん診療に積極的に取り組み、そのほか「呼吸器センター」での内

科・外科の垣根を越えた総合的な呼吸器疾患治療や、骨・運動器、腎疾患、成育、感染・免疫アレルギー、そしてセーフティーネット分野である重度心身障害医療や結核医療に関する専門性の高い医療を提供しています。また、高知県災害拠点病院、高知DMAT指定病院としての役割を担っていることも特徴です。研修医の定員は1学年5名と少人数制であり、一人あたりの担当

症例数、手技経験数を十分得ることができ、確かなプライマリ・ケア能力を獲得することができます。さらに、院内外の勉強会や学会発表への参加も積極的に奨励しており、アカデミックな力も養うことができます。

各診療科間の垣根が低く、他科への相談がしやすいですし、三次救急病院と比較してゆっくりとした環境であるため、一つひとつの症例をじっくり学ぶことができます。当直は月に4回ほどですが、自分で回数や当直日を調節することも魅力でしょう。

プログラムの特徴について

垣根の低い各診療科間の横のつながりを活かしたプライマリ・ケア重視の研修プログラムとなっています。さらに、全国のNHOネットワークによる特色あるNHO病院での研修ができることも特徴です。高次救急については、災害医療センター、京都医療センター、呉医療センター、高知医療センター、近森病院、高知赤十字病院で、腫瘍学については四国がんセンターで、先天性疾患等に関しては四国こどもとおとなの医療センターにて、それぞれ研修が可能です。精神科医療については、協力病院である高知鏡川病院や細木病院で学びます。



PROFILE

出身地：徳島県
出身大学：徳島大学(1989年卒)
宝 物：家族と先輩・後輩
座右の銘：人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり

選択肢が多彩であり、一人ひとりの希望に応じた研修が可能となっています。

読者へのメッセージ

みなさんが積極的にチャレンジできる研修環境を用意しています。医師として成長するために“経験”に勝るものはありません。特に初期研修の2年間をどのように過ごすかは、その後の医師人生を決めるといっていいほど非常に重要であり、積極的にいろんなことを経験してほしいと思います。失敗も経験するでしょうが、それらは全て将来の大きな糧となるはずです。

当院は豊富な症例数を有しており、かつ、一つひとつの症例をじっくり、しっかりと勉強することができます。ワークライフバランスに優れた病院であることも特徴ですし、高知は自然がきれいで、お酒も魚も美味しく、生活面においても抜群の環境です。当院でなら楽しく充実した研修医生活を送ることができるでしょう。

VOICE × 初期研修医

豊富な実践経験で確かな手技力を習得

初期研修医 2年目 吉田 晃弥

外科専門医に必要な手術経験数は初期研修期間の経験数も加算されるため、当院の“経験”できる環境は外科志望の私にとって最良の研修環境です。上の先生方の手厚いフォローのなか、実際に執刀や縫合をさせていただいたり、腹腔鏡のオペではカメラの持ち方を学んだり、手術経験数は同年代のなかでも多いと思います。コメディカルの方にも相談しやすく、雰囲気の良さも抜群。ぜひ一度、病院見学に来てください。



PROFILE

出身地：京都府
出身大学：高知大学
(2021年卒)
宝 物：家族や友人
座右の銘：人生とは
選択の総和である

自由度が高い研修で選択肢も多彩

初期研修医 2年目 伊藤 一輝

6年次のポリクリで当院を訪れた際、スタッフのみなさんが非常に優しく、雰囲気が抜群に良かったことから迷わずに当院を研修先を選びました。研修は自由度が高く、肺がん治療に興味があったため、NHOグループの「四国がんセンター」で経験させていただくなど希望に沿った研修ができます。幅広い症例経験ができ、協力病院やNHOグループでの研修など選択肢も多彩ですので、将来の進路が決まっていなくてもおすすめです。



PROFILE

出身地：愛媛県
出身大学：高知大学
(2021年卒)
宝 物：両親
座右の銘：雨垂れ石を穿つ



国立病院機構 高知病院

住 居 千 780-8507
高知県高知市朝倉西町 1-2-25
WEB <https://kochi.hosp.go.jp>

病床数 **424床** 診療科数 **26科**

高知病院の特徴

高知病院は国の政策医療を担っており、免疫アレルギー、がん、呼吸器、腎、成育などについて、それぞれ特徴ある医療を行っています。さらに、26診療科を有する基幹病院として、これらの政策医療を推進するのみならず、一般診療においても充実した機能を有し高知市における地域医療の一翼を担っています。

専門研修プログラム 精神科

国立病院機構 琉球病院

高度な各種精神科専門医療と 救急を通して幅広い実力を獲得

琉球病院 院長 福治 康秀



琉球病院の精神科専門研修 プログラムについて

琉球病院は、精神289床、医療観察法37床、そして沖縄県唯一の強度行動障害の重度心身障害児・者病床90床の計416床を有する精神科単科病院です。2019年にはスーパー救急病棟が稼働。救急医療・精神科専門医療・地域精神医療に積極的に取り組んでおり、さらに2021年11月にはコロナ病棟を開設するなど、沖縄県の精神科領域における重要な役割を担っています。

VOICE × 専攻医

質の高い幅広い専門医療だけではなく 精神科医としての面白さ、楽しさも経験

精神科 専攻医 岡 桜子

私は九州大学の精神科に所属していますが、琉球病院の専門研修プログラムを希望し、2023年度から当院で研鑽を積んでいます。

琉球病院には全国的にも有名なクロザピン治療の専門病棟や、医療観察法病棟、依存症病棟があり、さらに救急にも力を入れているため、専門性の高い幅広い精神科医療を経験できることが特徴。クロザピン病棟では長期入院だった方の症状が改善し、地域社会に戻っていく姿を多く見ることができます。その光景は大きな感動ですし、やりがいにもなっています。

また、本土出身の私にとっては初めて知るような沖縄独自の風土や信仰が精神科医療に密接に関わっ

当院を基幹病院とする本プログラムは、幅広い精神科医療・司法精神科医療を経験できることが特徴。精神保健指定医取得のための症例や、他では体験できない症例経験を積み機会も豊富にあります。

琉球病院の研修環境について

各種精神科専門医療を推し進めており、治療抵抗性精神疾患治療においては難治性統合失調症に対して全国で2番目に多い治療数を誇る「クロザピン治療」や、重症

ができます。新たな経験や学びを得られることも特徴です。医局がとてもアットホームな雰囲気や指導医の先生方にも相談しやすいですし、コミディカルとの距離も非常に近く、いつも助けていただいています。オン・オフも明確で働きやすい環境も当院の大きな魅力です。

精神科は最も人と向き合う科。幅広い精神科専門医療を提供している当院では毎日さまざまな患者さんと出会うことができ、その分やりがいも数多く感じることができます。精神科の面白さ、そして沖縄の風土・文化も楽しみながら精神科医として着実に成長できる病院です。



の統合失調症・躁病・うつ病を対象とした「修正型電気けいれん療法(m-ECT)」を実施しています。

医療観察法病棟も有しており、精神鑑定も含め司法精神科医療も学ぶことができ、さらに沖縄県の「子どもの心の診療ネットワーク事業」の拠点病院として児童・思春期精神科医療や、認知症の専門医療など各ライフステージに合わせた専門診療も経験できます。

依存症診療では、アルコールや薬物はもちろん、ネット、ゲーム、依存症と幅広く対応。地域精神科医療も展開し、訪問看護や地域の関係機関と協働しながら患者さんやご家族を支えています。加えて精神科救急基幹病院として多くの救急患者を受け入れていることも大きな特徴です。また、DPAT(災害派遣精神医療チーム)にも取り組んでおり、沖縄県の先遣隊の指名も受けています。

当院には「臨床研究部」も設置されており、大学や研究機関と連携しながら研究や治験にも力を入れています。

スーパー救急病棟でのカンファレンスやプレゼンテーション、NHOの複数施設が参加するテレビ会議システムによる精神医学講義を毎週開催するなど症例検討会や勉強会も豊富。指導・バックアップ体制も充実しており、安心して積極的に症例経験ができる環境にあります。

当院には九州大学や琉球大学に

所属する医師も研鑽を積んでいまずし、NHOの連携プログラムによるローテーションの受け入れなど人材交流のハブ拠点であることも魅力でしょう。さらにNHOの精神科レジデントフォーラムで全国のNHOの医師たちと繋がりを築くこともできます。

また、男性医師も積極的に育児休暇を取得するなど働きやすい環境も整備されています。

初期研修医のみなさんへ

メッセージ

精神疾患は解明されていない部分も多く、興味が尽きることはありません。また、ニーズも非常に高く、やりがいも大きい診療科です。

精神科医にとって大切なスキルは、相手の心情に寄り添い、かつエビデンスに基づいた治療を実践できること。幅広い専門診療を豊富に経験できる当院でなら、精神科医として大切なスキルはもちろん、どのような場所でも活躍できる実力を獲得できるはず。そして精神科医としてのやりがいや楽しさも感じていただくことができるでしょう。



PROFILE

出身地：沖縄県那覇市首里
出身大学：琉球大学
宝 物：人々とのつながり
座右の銘：あるがままに目的本位に行動する・さっと手を出す すっと動く・目標は高く実践は小刻みに・初心忘るべからず



国立病院機構
琉球病院

住所 〒904-1201
沖縄県国頭郡金武町字金武 7958-1
WEB <https://ryukyuhosp.go.jp>

病床数 **416**床 診療科数 **7**科

琉球病院の特徴

沖縄初の精神科病院・琉球病院は、70年の歴史を持ち、精神科救急、災害対策等の幅広い精神科医療を提供。人材育成にも力を入れ、医学生から専門医までの研修・実習を行っています。また、多種多様な臨床研究を推進。建物も新しく、より良い医療を提供するための取り組みを続けています。

専門研修プログラム 小児科

国立病院機構 長崎医療センター

救急医療や急性疾患の管理も経験
小児の“総合力”を獲得できます

長崎医療センター 小児科 統括診療部長 本村 秀樹



長崎医療センターの小児科専門 研修プログラムについて

当院は病床数643床、37の診療科を有する地域中核病院であり、色々な病気の子どもたちが集まってきました。へき地・離島における医療支援も担っており、幅広い臨床力を有した離島医師の育成にも注力しています。小児科においても同様の役割を担っており、当院の小児科専門研修プログラムでは高い“総合力”を身につけられることが特徴です。

3年間の研修期間のうち、半年～2年間は当院において新生児から思春期まで小児医療全般を研鑽します。3か月間以上は対馬病院、上五島病院、五島中央病院、杵岐病院、上対馬病院などで離島医療

を経験するようにプログラムされています。なお、当院では治療を行っていない血液・腫瘍疾患の研修は、長崎大学病院にて行います。また、学会、講習会、研修会への積極的な参加も推奨しており、参加費用などのサポートもしています。

長崎医療センターの 研修環境について

当院は長崎県の「総合周産期母子医療センター」に認定されており、早産児・新生児に関して高度な専門医療を展開していることが特徴です。また、高度救命救急センターを備えた三次救急施設であり、2022年度の小児科急患数は2502人、うち入院数は551人です。救急車対応は救急科の医師と

共同で治療にあたるなどバックアップもしっかりしていますし、重症な子どもたちの全身管理も十二分に学ぶことができます。

当院は「てんかん診療拠点病院」であり、てんかん手術のため全国から患者さんが集まってきました。小児循環器においても心臓カテーテル検査を行っており、心臓病の子どもは胎児期から関わっています。子どもの病気は他科にまたがることも多いですが、各診療科の医師にも相談しやすく、診療で困った際には小児科全員で相談・解決を図り、総力を挙げて診療にあたっています。診療体制はチーム制を敷いているためオン・オフがはっきりしており、各先生方のライフスタイルに合わせた働き方、

キャリア形成にも注力しているなど、“働きやすさ”も大きな魅力とします。

初期研修医のみなさんへ メッセージ

日本は少子化にありますが、医療を必要とする子どもたちがいなくなることはありません。未来の日本を担う大切な子どもたちの命を守る小児科医の役割は重要だと思います。また、日々の診療のなかで子どもたちの成長をみることができると、喜びも大きい診療科です。子どもが笑ってくれるとみんながハッピーになりますし、私たちが元気をもらうことができます。子どもの笑顔は周りが笑っていないと生まれません。小児科は笑顔が大切な診療科であり、笑顔が生まれる職場環境はやりがいや働きやすさにも通じます。小児科に少しでも興味のある方、私たちと一緒に子どもたちの笑顔を守るために楽しく働きませんか。



PROFILE

出身地：福岡県
出身大学：長崎大学(1992年卒)
宝 物：秘密(言葉にすると宝物ではなくるので)
座右の銘：関わった子どもたちは全て幸せに

VOICE × 専攻医

“主体的に考える診療” で確かな臨床力を獲得

三次救急病院であり、離島医療も経験できることが特徴。現在はNICUをローテーションしていますが、上の先生方の充実したバックアップ体制のなか、“主体的に考える診療”ができるため確かな臨床力を獲得できます。小児科は、子どもが笑顔になると自分も笑顔でいられる楽しい仕事。一緒に楽しく小児科医を目指しませんか。



佐藤 美悠

PROFILE

出身地：岡山県
出身大学：徳島大学
(2021年卒)
宝 物：家族と友人
座右の銘：stay hungry, stay foolish

積極的に経験できる 手厚い指導体制

離島プログラムがあるなど、小児科医としての高い総合力を修得できることが特徴であり、安心して積極的に臨床経験ができる手厚い指導体制も魅力。わからないことがあれば直ぐに聞くことができ、疑問はその場で解決することができるなど着実にスキルアップできる研修環境であり、日々、成長を実感することができます。



高橋 克仁

PROFILE

出身地：大阪府
出身大学：富山大学
(2021年卒)
宝 物：経験
座右の銘：足を知る・
とりあえずやってみれば

濃密な経験と学びを 得られる研修

専攻医一年目ですが、NICUでは挿管や中心静脈カテーテルなどの手技を実践経験し、妊娠24週目の帝王切開による未熟児の蘇生に立ち会うなど、非常に濃密な学びを得ています。小児科はいろんな科の集合体であり、進路が決まってない人にとっても最適な科だと思います。少しでも興味のある方、ぜひ一度見学にお越しください。



鳴尾 聡一郎

PROFILE

出身地：佐賀県
出身大学：北海道大学
(2021年卒)
宝 物：お金
座右の銘：まあいいか



国立病院機構 長崎医療センター

住 所 〒 856-8562
長崎県大村市久原 2 丁目 1001-1
WEB <https://nagasaki-mc.hosp.go.jp>

病床数 **643** 床 診療科数 **38** 科

長崎医療センターの特徴

大村湾を眺望できる長崎県中央、大村市の高台に位置し、高度医療提供の他、教育研修や臨床研究にも力を入れています。県下唯一のドクターヘリが配備され、救命救急医療、総合周産期母子医療、長崎県の地域がん診療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院として重要な役割を果たしています。